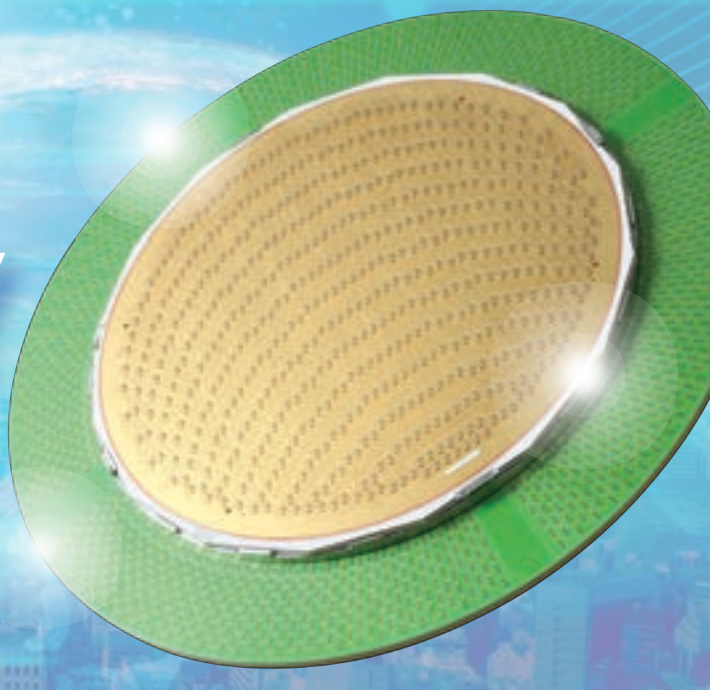
60th ANNIVERSARY

第61期 決算のご報告

2019年4月1日～2020年3月31日

BUSINESS REPORT

JEM TODAY



JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社

証券コード 6855

トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 **大久保 和正**

事業の経過及び成果

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、次世代通信規格(5G)や人工知能(AI)、IoTの普及に牽引され、中長期的には緩やかな成長を予想しております。上期につきましては、メモリーICを中心に、在庫調整や、半導体メーカーの設備投資計画の見直しが図られる等、調整局面が続きました。下期につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により、スマートフォンの出荷台数の落ち込みや自動車等のサプライチェーンの混乱等の経済活動の落ち込みがあったものの、データセンター関連投資の拡大や5Gの立ち上がりにより、全体的には復調傾向となりました。

このような事業環境の中、当連結会計年度の売上高につきましては、メモリーIC向けの製品の拡販が進んだことにより、前連結会計年度を上回る結果となりました。利益面につきましては、新工場稼働における先行費用の発生等があったものの、前連結会計年度に対して概ね横ばいの結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は15,669百万円(前連結会計年度比8.7%増)、営業利益は1,012百万円(前連結会計年度比0.7%増)、経常利益は993百万円(前連結会計年度比6.1%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券売却益による特別利益を計上したこと等により、1,076百万円(前連結会計年度比32.8%増)となりました。

株主の皆様へ

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、中長期的には緩やかな成長を予想する一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大によるマクロ経済への影響やスマートフォン及び自動車の需要動向等が、半導体市場やプローブカードの需要に与える影響を、現段階において見通すことは難しい状況です。

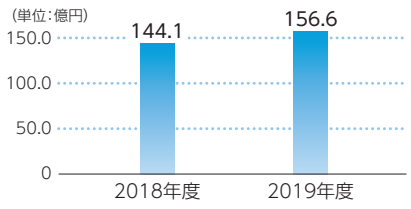
このような事業環境の中、当社グループといたしましては、生産能力強化を図る等、更なるプローブカードの需要に備えたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

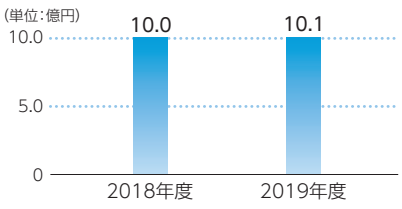
2020年6月

業績の推移

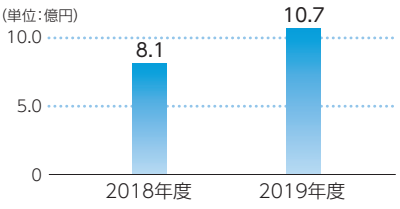
○売上高



○営業利益



○親会社株主に帰属する当期純利益



※記載金額未満は切り捨てて表示しております。

記念特集

おかげさまで創立60周年

日本電子材料60年のあゆみ

テレビのブラウン管の部品を作る会社として始まった当社の歴史。
その後、プローブカードの生産をスタートさせ、おかげさまで2020年4月に
創立60周年を迎えました。これからも立ち止まることなく、
エレクトロニクス産業の発展に貢献してまいります。

1960年～

日本電子材料株式会社を設立

● 1960年
兵庫県尼崎市御園に日本電子材料株式会社を設立し、ブラウン管用カソード・ヒーター等の電子管部品の製造販売を開始

1970年～

日本で最初にプローブカードの製造を開始

● 1970年
- 米国のRucker&Kolls（ルッカー&コールス）社と技術提携し、半導体ウエハー検査用プローブカード（現在のCタイプ）の製造販売を開始
- 本社（旧）社屋新築

1980年～

半導体市場の拡大に合わせ国内外の生産拠点を強化

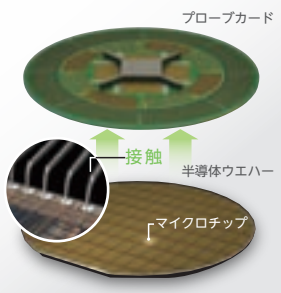
● 1985年
熊本県菊池市七城町に熊本工場（現・熊本事業所）を新設

● 1987年
- 米国にJEMアメリカ社を設立
- 本社（現）社屋新築
  兵庫県尼崎市西長洲町に本社を移転

● 1988年
- 香港にJEM香港社を設立
- 中国に深圳工場（現・JEM深圳社）を新設

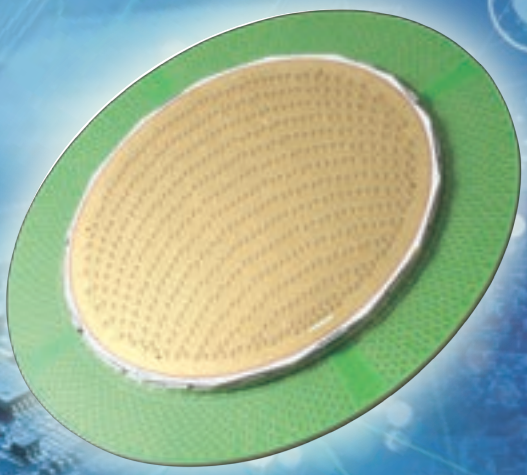
プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の中で、ウエハーテストとよばれる電気的な検査を行う工程で用いられます。そして、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、最大10万本以上のプローブ（針）を接触させ、電気信号を半導体テスターに伝える重要な役割を担っております。



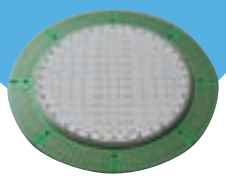
売上高の推移（2001年度より連結売上高）
（棒グラフ）

1961年～　1970年～　1980年～　1990年



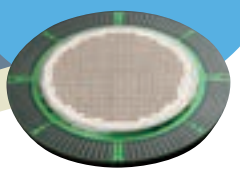
1990年～

Vタイププローブカードの販売開始



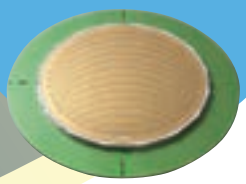
2000年～

海外拠点の強化及びMタイププローブカードの販売開始



2010年～

Mタイププローブカードの拡販及び生産能力強化



●2010年
本社にクリーンルームを新設

●2003年
- 中国にJEM上海社を設立
- 仏国にJEMヨーロッパを設立

●1993年
台湾にJEM台湾社を設立

●2019年
兵庫県三田市に三田工場を新設

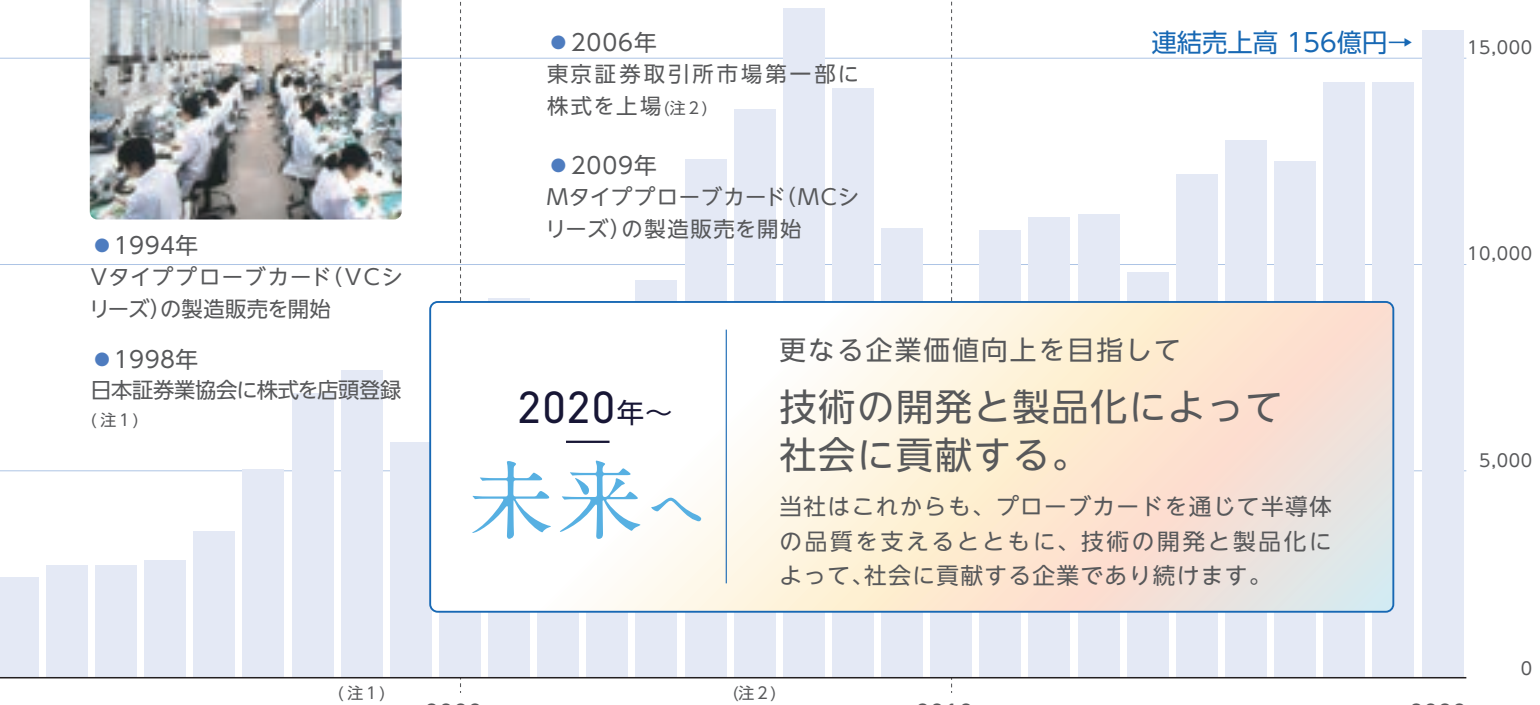
●2020年
4月 創立60周年

●1994年
Vタイププローブカード（VCシリーズ）の製造販売を開始

●1998年
日本証券業協会に株式を店頭登録（注1）

●2006年
東京証券取引所市場第一部に株式を上場（注2）

●2009年
Mタイププローブカード（MCシリーズ）の製造販売を開始



2020年～ 未来へ

更なる企業価値向上を目指して

技術の開発と製品化によって社会に貢献する。

当社はこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化によって、社会に貢献する企業であり続けます。

株式事項

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	10,604,880株
株主数	5,055名

大株主

(2020年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
㈲大久保興産	1,266千株	11.96 %
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	1,138	10.74
大久保和正	498	4.70
日本マスタートラスト信託銀行㈱	392	3.70
大久保英正	348	3.29
㈱三菱UFJ銀行	309	2.91
古山陽一	260	2.45
大久保昌男	244	2.31
MSIP CLIENT SECURITIES	212	2.00
日本電子材料社員持株会	188	1.77

(注)持株比率は、自己株式(15,559株)を除いて計算しております。

役員

(2020年6月25日現在)

取締役	
代表取締役社長 社長執行役員　営業統括部長	大久保　和正
専務取締役 専務執行役員　管理部門統括部長	足立　安孝
取締役	井上　廣志*
取締役	中本　大介*
取締役 常勤監査等委員	竹原　克尚
取締役 監査等委員	濱田　幸和*
取締役 監査等委員	吉田　博之*

*は社外取締役

執行役員	
副社長執行役員 品質統括部長　兼　生産管理統括部長	呉　泰燁
常務執行役員 MEMS統括部長	坂田　輝久
上席執行役員 本社MEMS工場長	森　隆一郎
執行役員 生産統括部長	藤井　昭彦
執行役員 製品技術統括部長	澤井　守康

会社概要

社名	日本電子材料株式会社
英訳名	JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
住所	兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表)
設立	1960年4月6日
資本金	983,100千円
事業内容	●半導体検査用部品の開発・製造・販売 ●電子管部品の製造・販売
株式市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6855

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 … 3月31日 剰余金の配当 … 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料) ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.jem-net.co.jp/

(注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。

2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。

JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社
〒660-0805　兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号
http://www.jem-net.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
UD FONT